一般社団法人　公認心理師の会
2022 年度 年次総会
プログラム集

◆総会テーマ

科学者–実践家モデルの公認心理師を

社会に発信し普及させよう

一般社団法人公認心理師の会　2022 年度　年次総会　概要

ごあいさつ　　公認心理師の会　理事長　丹野義彦

●年次総会の３つの機能

公認心理師の会は、2018 年 11 月の発足以来４年がたち、会員数も増加し、その活動は拡大・深化しています。各分野での活動が細分化されたため、他の分野の方々と顔を合わせる機会を設けたいという声が強くなり、「年次総会」を毎年開くことにしました。

年次総会には次の３つの機能があります。

（A）会員の交流機能（会員が一同に会し、顔を合わせ、学び、親睦を深める場をつくるため）

（B）学会機能（科学者・実践家モデルにもとづく実践研究を推進し、生涯研鑽の場をつくるため）

（C）広報機能（当会の活動を内外に知らせ、当会の理念の普及をはかる場をつくるため）

本年 2022 年度も、2020 年から引き続いて、コロナ禍のために対面開催ができず、Web 開催といたします。当会の５部会が中心となり、時間をかけて企画を進めてまいりました。

●『公認心理師の会学術雑誌　科学者・実践家モデル』の発行のねらい

年次総会の３つの目的のうち、（B）学会機能を強化するため、大会論文集を発行しています。タイトルの「科学者・実践家モデル」は当会の基本理念です。年次総会での有益で水準の高い実践研究活動の成果を蓄積し、会員全員が共有するために、また当会の研修の機能や学会の機能を強化させ、会員のみなさまのスキルアップとキャリアアップに寄与するためのものです。大会論文集は、当会ウェブサイトの会員専用ページで、会員限定公開といたします。

●総会テーマ

本年度の総会テーマは、「科学者－実践家モデルの公認心理師を社会に発信し普及させよう」といたしました。科学者－実践家モデルは当会の基本理念であり、これからの公認心理師にとって必要な考え方であることは間違いありません。この理念にもとづいて、当会は、各実践分野における公認心理師が備えておくべき知識・技能の内容を「コンピテンス」リストとして策定し、研修制度を整備し、一定のレベルに達した者に各分野の「専門公認心理師」の資格を認定することになりました。こうした活動や年次総会等を通じて、当会は科学者－実践家モデルの発信と普及に努めてまいります。どうかご協力をお願い申し上げます。

総会テーマ

科学者-実践家モデルの公認心理師を社会に発信し普及させよう

日　時　　2022 年 9 月 24 日（土）　・　9 月 25 日（日）

オンデマンド配信　2022 年 10 月 24 日（月）～11 月 30 日（水）

参加費　　無　料

開催方法

1）ライブ配信：

1 日目　9 月 24 日（土）Zoom ウェビナー　（どなたでも参加可能）

下記 URL から事前にご登録ください。申込み完了後に URL がメールで送付されます。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_d4C_1LQETJ2xZj9Kkc5g_w

2 日目　9 月 25 日（日）Zoom ミーティング

今年度の年会費納入済み会員のみ参加可能です。

＊年会費の納入・確認は、WEB サイト内の「マイページ」でお願いします。

注：マイページで会員有効期限が「2023/03/31」であれば年会費納入済みです。

公認心理師の会の各部会メーリングリストから登録者に URL を送付いたします。

未登録者、9 月 10 日（土）までに登録希望をお知らせください。

登録方法は、会員ページからご確認ください。

未入会の公認心理師有資格者は、この機会にご入会ください。

2）オンデマンド配信：10 月 24 日（月）～11 月 30 日（水）

当会のホームページにて動画配信サービス Vimeo を使って公開いたします。

参加に関する注意事項

Zoom の使用方法について、参加者各自で事前にご確認ください。

事前登録者には、今後、当会からのお知らせを送付させていただくことがあります。

主催　一般社団法人　公認心理師の会

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル

公益社団法人日本心理学会事務局内　ホームページ　https://cpp-network.com/

一般社団法人公認心理師の会　年次総会日程表

1日目	時刻	2日目
2022年9月24日（土） 9：30～18：30 一般公開無料イベント		2022年9月25日（日） 9：30～18：30 会員限定無料イベント
開場	9:20	開場
開会式	9:30	拡大部会ミーティング① 医療部会
PG1　福祉・障害部会シンポジウム 家庭内で虐待を受けた子どもたちに 公認心理師は何ができるのか？	10:00	
	10:30	
	11:00	拡大部会ミーティング② 教育・特別支援部会
	11:30	
	12:00	
PG２　産業・労働・地域保健部会企画シンポジウム デジタルメンタルヘルスツールの評価基準	12:30	
	13:00	拡大部会ミーティング③ 産業・労働・地域保健部会
	13:30	
	14:00	
PG３　司法・犯罪・嗜癖部会企画シンポジウム 触法精神障害者へのエビデンスに基づく 心理学的支援と多職種連携 －保健医療分野と福祉分野との協働－	14:30	拡大部会ミーティング④ 司法・犯罪・嗜癖部会
	15:00	
	15:30	
	16:00	拡大部会ミーティング⑤ 福祉・障害部会
PG４　医療部会　教育・特別支援部会 共同企画シンポジウム これだけは知っておきたい 学校でのメンタルヘルス支援	16:30	
	17:00	
	17:30	全会員集会 研修会・年次総会委員会企画
	18:00	
閉会式		
	18:30	

ＰＧ１　福祉・障害部会企画シンポジウム　10：00～11：30

家庭内で虐待を受けた子どもたちに公認心理師は何ができるのか？

司　　会	古村　健	国立病院機構東尾張病院
	下山　真衣	信州大学
話題提供	丸山　洋子	名古屋市中央児童相談所
	上宮　愛	金沢大学人間社会研究域人間科学系
	丹羽　健太郎	椙山女学園大学教育学部子ども発達学科

【目的・ねらい】家庭内での虐待は気づかれにくく、異変に気づいても、どのようにケアをするとよいのか迷うこともあるだろう。子どもたちへのケアの仕方、気づいたときの対応を考えるために、児童相談所の児童精神科医の立場から丸山洋子先生に話題提供をしていただく。虐待問題を解決するための「司法面接」は、被害を受けた子どもたちから正確に負担なく情報を聞き取るための技術と体制づくりに向けて、開発・普及されている。現状と課題について、司法面接の普及に関わる上宮愛先生から話題提供をしていただく。虐待を受けた子どもたちが児童福祉施設を経て地域に戻る場合、予防と健全育成を目指し、さまざまな場と関係者へのつなぎが必要となる。この点に関して、児童福祉施設の心理職の立場から、丹羽健太郎先生に話題提供をしていただく。

本シンポジウムを通して、家庭で虐待を受けた子どもたちへの支援の現状と課題を共有し、公認心理師ができること、また職能団体として取り組むべきことを明確にしていきたい。

ＰＧ２　産業・労働・地域保健部会企画シンポジウム　12：30～14：00

デジタルメンタルヘルスツールの評価基準

司　　会	金井嘉宏	東北学院大学
話題提供	武川大輝	emol 株式会社
	山本哲也	徳島大学
	横光健吾	人間環境大学
指定討論	奈良元壽	サイテック

【目的・ねらい】メンタルヘルスに関するアプリ、生理・行動データを簡易に収集できる機器など、デジタルツールの開発と普及が著しい。アプリでは、ストレスマネジメント、認知行動療法、マインドフルネスなどの内容で構成されているものもある。一方、さまざまなデジタルツールが開発されているがゆえに、その質はさまざまであり、労働者の健康を保つために活用・推薦できるものを見分ける目と情報が必要である。そこで本シンポジウムでは、労働者向けのメンタルヘルスアプリの開発を行っている武川先生、研究や臨床実践においてアプリやスマートウォッチ、簡易心拍計といったデジタルツールを活用されている山本先生、アプリを提供する側・利用する側にもアプリの基準を知ってもらい、業界の健全化を図ることを目的にアプリの有効性について実証的な研究を行っている横光先生に話題提供いただく。最後に、部会委員の奈良先生から指定討論をいただき、こうしたデジタルメンタルヘルスツールを働く人々にどのように活用してもらえるか、最後まで実施できるかという点についても議論したい。

ＰＧ３　司法・犯罪・嗜癖部会企画シンポジウム　14：30～16：00

触法精神障害者へのエビデンスに基づく心理学的支援と多職種連携

－保健医療分野と福祉分野との協働－

司　　会	野村　和孝	北里大学
話題提供	古村　健	国立病院機構東尾張病院
	中川　桂子	大石クリニック
	金澤　潤一郎	北海道医療大学
指定討論	西中　宏吏	早稲田大学
	浦田　洋	甲子園大学

【目的・ねらい】司法・犯罪分野におけるエビデンスに基づく心理学的支援は、監獄法が改正されたことを契機として広く普及することとなった。その後、再犯防止推進法の施行に伴い、官民協働で取り組むことが推進されている。なかでも精神障害を有する者の再犯防止の取り組みにおいては、保健医療分野と福祉分野の民間団体等との連携が必要不可欠である。そこで、触法精神障害者へのエビデンスに基づく心理学的支援の実践について、保健医療分野と福祉分野との協働といった観点から多職種連携等の公認心理師としての現状と課題を共有し、今後の展望を全体で協議する。

ＰＧ４　医療部会　教育・特別支援部会　共同企画シンポジウム　16：30～18：00

これだけは知っておきたい　学校でのメンタルヘルス支援

司　　会	澤田　梢	広島県立障害者リハビリテーションセンター
	佐々木　恵	北陸先端科学技術大学院大学
話題提供	佐藤　寛	関西学院大学
	小塩　靖崇	国立精神・神経医療研究センター
	小関　俊祐	桜美林大学
指定討論	中野　有美	南山大学

【目的・ねらい】学校現場におけるメンタルヘルス支援については、個々の子どものメンタルヘルスケアに関する直接的な知識や技術のみならず、関係法令や制度に関する知識、あるいは学習指導要領の改訂に伴う学校における精神疾患教育に関わる知識や、医療と教育の円滑な連携など、多角的な知識や技術が必要である。そこで本シンポジウムでは医療部会と教育・特別支援部会との共同企画により、これらを踏まえた最新の取り組みについて共有し、この領域のさらなる発展に向けた議論を行う。

---

2 日目　2022 年 9 月 25 日（日）　会員限定無料イベント

医療部会　拡大部会ミーティング　9：30～10：30

医療部会での拡大部会ミーティングは、医療現場で働くあるいは興味のある会員の心理師さんを対象としています。ミーティングの参加には臨床経験は問いません。会員であればどなたでも大歓迎です。仲間づくり、困りごとの共有、研修会などの企画へのリクエスト、公認心理師の会の運営への参画や提案など交流の機会にできればと思います。ミーティングを通じて、医療領域で活動する公認心理師仲間を作ってみませんか？多くの方のご参加をお待ちしています。

教育・特別支援部会　拡大部会ミーティング　11：00～12：00

今回の拡大部会ミーティングでも、2022 年 1 月に行われた第 1 回拡大部会ミーティングと同様、教育・特別支援領域および関連領域における臨床活動とその課題、今後の展望について会員の皆様と意見交換を行いたいと考えております。当部会では関連する外部機関との連携強化をスタートしており、今回のミーティングでは臨床発達心理士認定運営機構の渡邉正人先生（鳥取大学）からも話題提供を頂く予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

産業・労働・地域保健部会　拡大部会ミーティング　13：00～14：00

産業領域に興味がある方はぜひご参加いただき、仲間づくりの場として活用ください。
・今年度産業部会で行ってきたことの報告と産業領域のコンピテンスリストの内容説明
・小グループに分かれて、情報交換・交流
（今年度はより議論が深まるよう産業領域での経験年数別にグループを分けさせていただく予定です）
テーマ予定
　・産業領域のコンピテンスリストの感想と、今後特に学習が必要な領域と感じるところについて
　・上記理由について

司法・犯罪・嗜癖部会　拡大部会ミーティング　14：30～15：30

企画内容は、8 月に部会メーリングリストにてご案内させていただきます。

福祉・障害部会　拡大部会ミーティング　16：00～17：00

今回は、「児童福祉法改正」をテーマに根ケ山裕子先生（名古屋市西部児童相談所　弁護士）に解説（20 分程度）をしていただきます。みなさまと理解を深めるための質疑の時間も準備したいと思います。また、当部会の活動についても、みなさまと対話できればと考えております。ご参加ください。

研修会・年次総会委員会企画イベント　17：30～18：30

全会員集会

司　会	清水栄司	研修会・年次総会委員長	
開会あいさつ	丹野　義彦	理事長	
部会報告	五十嵐　友里	医療部会長	
	小関　俊祐	教育・特別支援部会長	
	田上　明日香	産業・労働・地域保健部会長	
	嶋田　洋徳	司法・犯罪・嗜癖部会長	
	古村　健	福祉・障害部会長	
委員会報告	金井　嘉宏	専門資格委員長	「コンピテンスと専門資格」
	古村　健	事務局長	「研修会」
	佐々木　淳	倫理・職責・関連法規委員長	「倫理綱領」
閉会あいさつ	鈴木　伸一	副理事長	

会員のみなさまに向けて、各部会から活動報告をさせていただきます。また、委員会から「コンピテンスと専門資格」「研修会」「倫理綱領」についてご紹介をさせていただきます。みなさまからのご意見もお待ちしております。どうぞご参加ください。